

# 令和6年度 「標茶町立中茶安別中学校 学力向上計画」

## 1 生徒の実態

【令和5年度 標茶町標準学力調査より】

教科	国語			社会			数学			理科			英語		
	知 ・ 技	思 判 表	主 体 的												
中学1年生 (現中学2年生)	△	≒	△	△	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽
中学2年生 (現中学3年生)	▽	≒	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽

△：目標値を上回っている    ≒：目標値と同程度    ▽：目標値を下回っている

### ◎良い点

現中2は、国語・英語が目標値を上回っており、観点別では「思考・判断・表現」の観点が目標値を上回っている。  
現中3は、国語の「知識・技能」の観点と、理科の「思考・判断・表現」が、目標値をやや上回るか同程度である。

### ▲課題

現中2・中3ともに、社会・数学・理科において、目標値を大きく下回っている。  
「思考・判断・表現」の観点に関わって、文章や資料・表などを読み取ったり、考察したりする応用力に課題がある。  
「主体的に学習に取り組む態度」の観点が目標値を下回っている教科が多い。

【令和5年度全国学力・学習状況調査（自校採点）より】

国語	◎ 意見と根拠、具体と抽象など、情報と情報との関係を理解している。 ▲ 根拠を明確にして、自分の考えが伝わるように書くことにやや課題が見られる。
数学	◎ 「データの活用」についての正答率が高く、情報を適切に読み取れる。 ▲ 「図形」や「関数」に課題が見られ、基本的な知識・技能の定着が不十分である。
英語	◎ 日常の場面における会話を聞いて、情報を正確にとらえられる。 ▲ 「日常的な話題について、事実や自分の考えを整理して書くことにやや課題が見られる。

## 2 目標

【標茶町標準学力調査】

全教科の観点を目標値と同程度以上とする。また、「思考・判断・表現」や「主体的に学習に取り組む態度」の観点など、活用する力を向上させる。

【全国学力・学習状況調査】

正答率の低かった問題について把握・分析し、授業の質を高め、正答率の向上を目指す。

## 3 改善方策

授業	・校内授業研等を通した「学びに向かう力」の育成 ・「思考力・判断力・表現力」の向上 ・授業アンケートや教職員自己評価の結果分析をもとにした授業改善
授業以外	・標茶町標準学力調査の分析 ・チャレンジテスト（全学年）の活用 ・家庭学習の手引きや計画表の活用を通した家庭学習の充実
連携 (研修,小学校,家庭)	・委員会活動等における、本の紹介内容の充実 ・「思考力・判断力・表現力」を重視した研修の充実
その他	・朝読書への継続した取り組み

## 4 実施計画

時期	授 業	授業以外	連携（研修，小学校，家庭）	その他
4月	・授業開きオリエンテーション	・チャレンジテスト（前年度問題・前年度サポート問題） ・放課後の自主学習（通年）	・本の紹介と読書の励行（通年） ・「家庭学習の手引き」の配付と学級懇談での説明	・朝読書（通年）
5月			・全体研修（授業づくりにおける共通理解について）	
6月	・1人1授業（～12月末）		・学校サポートプラン	
7月	・授業アンケート① ・教職員自己評価①	・チャレンジテスト（1学期末問題）	・参観日，学級懇談	
8月	・自己評価①を受けての学校改善プラン実施	・チャレンジテスト（1学期末問題・1学期サポート問題）		・全国学力・学習状況調査の結果分析と学力向上計画の見直し①
9月				
10月	・校内授業研①			
11月	・校内授業研②			
12月	・教職員自己評価② ・授業アンケート②	・チャレンジテスト（2学期末問題）	・参観日，学級懇談	・標茶町標準学力検査
1月	・自己評価②を受けての学校改善プラン実施	・チャレンジテスト（2学期末問題・2学期サポート問題）		
2月			・地域参観日，学級懇談 ・全体研修（今年度の校内研修の振り返り，課題と成果）	・標茶町標準学力調査の結果分析と学力向上計画の見直し②
3月	・授業アンケートの結果集約と改善計画			

## 5 評価方法

○標茶町標準学力調査後に中間評価を行い、実施状況や課題と解決策を探る。  
○全国学力・学習状況調査の結果が届け次第、成果とその理由を分析して、課題を改善する授業を構築し、次年度の目標を設定して評価する。